

記者発表資料
令和6年8月26日

所 属	大垣市教育委員会事務局文化振興課
担 当	課長：鈴木 主幹：大橋 担当：上嶋
連絡先	0584-47-8067（直通）

芭蕉生誕380年記念事業について

1 趣 旨

芭蕉生誕380年を記念し、市民が松尾芭蕉や『奥の細道』の魅力に触れる機会を設け、市の文化芸術の振興を図るもの。

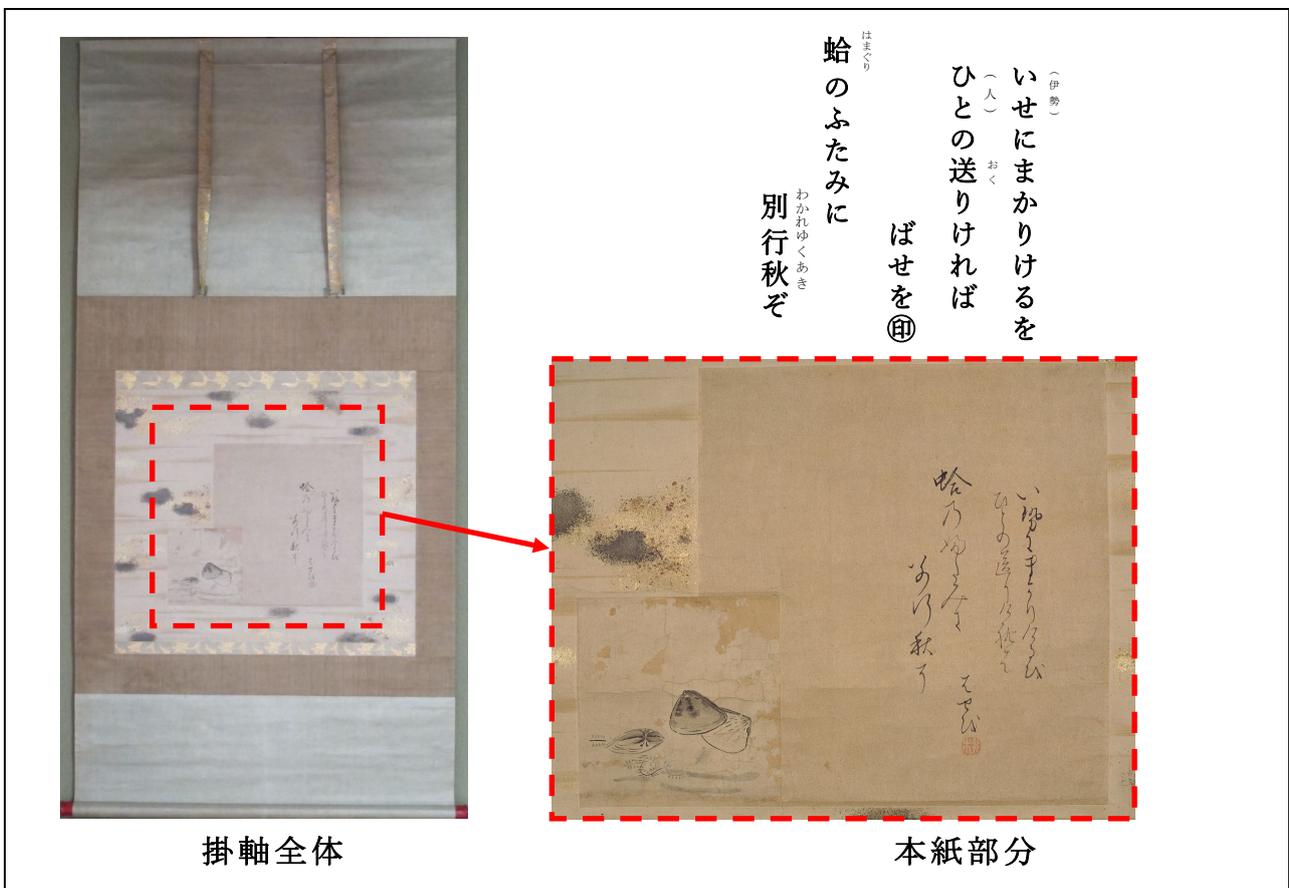
2 事業概要

(1) 芭蕉筆「蛤の」句懐紙の購入

『奥の細道』の掉尾を飾る芭蕉句「蛤のふたみに別行秋ぞ」が記された芭蕉の真筆。

国名勝「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」（現・市内船町）に存在する「蛤塚」に刻まれた文字の原典に該当するもの。

購入した芭蕉真筆は、奥の細道むすびの地記念館第40回企画展に展示。



(2) 芭蕉真筆を活かした企画展（第40回企画展）

① 題 名

川と道の織りなす芭蕉の旅

② 会 期

令和6年10月5日（土）～令和6年11月17日（日）

③ と ころ

大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室

④ 内 容

川や道は通路としてだけでなく、人びとの生活や文化を育むものである。「旅の詩人」と称される芭蕉にとっても、河川を渡り、街道を歩く際に抱いた思いは、作品を生み出す原動力ともなった。本企画展では、川や道と芭蕉との関わりについて、『奥の細道』をはじめとする旅にまつわる作品や資料を通して紹介する。

⑤ 展示予定資料 ◎は芭蕉真筆

- ・芭蕉筆「蛤の」句懐紙（当館蔵） ◎
- ・元禄2年9月22日付杉風宛（推定）芭蕉書簡（個人蔵） ◎
- ・延宝8年9月19日付蛤直段付之覚（個人蔵）
- ・芭蕉筆「むまに寝て・みちのべの」句文懐紙（千代倉家歴史館蔵） ◎
- ・芭蕉筆「やはらかに」発句・脇懐紙（島田市博物館蔵） ◎ ほか

⑥ 学芸員によるギャラリートーク

令和6年10月6日（日）、10月27日（日）、11月3日（日）、11月17日（日）

⑦ 企画展関連講座

- 1) と き 令和6年10月12日（土）14：00～15：30
- 2) と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
- 3) 内 容 近世紀行文世界における知の連鎖と蹉跌
—芭蕉の位置—
- 4) 講 師 山形県立米沢女子短期大学教授 原 淳一郎 氏
- 5) 定 員 70人
- 6) 受 講 料 無料

(3) 企画展に係る子ども向け体験講座

① 名 称

子どもも大人も楽しめる和装本づくり

② と き

令和6年10月5日（土） 13：30～15：30

③ と ころ

奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1

④ 内 容

俳諧など江戸時代の文化を支えた出版業にちなみ、オリジナルの和装本を作成する。

⑤ 講 師

西尾市岩瀬文庫学芸員 青木 眞美 氏・上野 加耶子 氏ほか同文庫ボランティア

※ 西尾市岩瀬文庫は、重要文化財を含む古典籍から明治・大正期の実用書まで、幅広い分野と時代の蔵書8万冊余り保管・公開している書物の博物館。和装本の修理・保存にも力を入れており、和装本の歴史や保存についての話を交えながら、実際に和紙などの材料を使用した和装本づくりのワークショップを開催している。

⑥ 定 員

20人（対象は小学生以上、小学生は保護者の同伴が必要）

(4) 佐藤勝明著『全文を読み切る『奥の細道』の豊かな世界』の増訂版の作成
平成29年度に発行した奥の細道むすびの地記念館総合監修者佐藤勝明著
『全文を読み切る『奥の細道』の豊かな世界』の増訂版を作成するもの。

当該書籍は平成30年4月の発売後、充実した内容と手軽な価格から好評を
博し、令和元年度に開催した刊行記念連続講座は定員を上回る参加状況で
あった。

書籍は現在、完売している。増訂版は、旧版の誤植を訂正し、佐藤勝明氏
による書き下ろしを付け加えるもの。

- ① 販売日 令和6年10月5日（土）
- ② 販売価格 1,200円
- ③ 販売場所 大垣市奥の細道むすびの地記念館内 芭蕉庵
- ④ 参 考

佐藤勝明著『全文を読み切る『奥の細道』の豊かな世界』の概要

『奥の細道』を深く楽しく読むために佐藤勝明氏が執筆。出立からむ
すびの地大垣に至るまで全文を取り上げたもの。

旅路ごとに章段を分け、より深い世界を知るため「コラム」も掲載。
キーワードなどはゴシック体で示し、ゆかりの地の写真も各ページに
掲載。

- ・ 著 者 奥の細道むすびの地記念館総合監修者 佐藤 勝明
(和洋女子大学教授)
- ・ 発行所 大垣市・大垣市教育委員会
- ・ 価 格 1,000円 ※令和元年10月より1,020円に改定
- ・ 販売部数 2,500部
- ・ 販売場所 大垣市奥の細道むすびの地記念館内 芭蕉庵

